

はじめに

筆者があるITベンダーの顧問を務めていた際、お客様の監査法人から出されるさまざまな内部統制の監査指摘の相談にのっていました。

筆者がしていた顧問活動は、そのベンダーの製品を売るためというより、お客様の問題解決のためのものでした。ときには、無償で監査法人の指導や大手コンサルティング会社の指導よりもハイレベルな相談対応をしていたこともよくありました。

常々、ほとんどのお客様が、内部統制の重要性や、ITツールの必要性を痛感していらっしゃるにもかかわらず、なかなか内部統制対応が進まない事例をたくさん見てきました。

その重要とわかっていながらも遅々として進まない内部統制対応の最大の原因は、対応コストの高さ、とりわけ、IT統制ツールの敷居の高さだと知りました。

もちろん、一部上場の大手企業の中には、コストにかかわらずITツールをポンツと購入され、IT統制対応を完了される企業もありました。

しかし、内部統制対応が必要な企業は、大手上場企業だけでなく、新興市場上場の企業

■ ご注意：ご購入・ご利用の前に必ずお読みください

本書に記載された内容は、情報の提供だけを目的としています。したがって、本書を用いた運用は、必ずお客様自身の責任と判断によって行ってください。これらの情報の運用の結果について、技術評論社および著者はいかなる責任も負いません。本書記載の情報は、2010年2月現在のものを掲載していますので、ご利用時には、変更されている場合もあります。

以上の注意事項をご承諾いただいた上で、本書をご利用願います。これらの注意事項をお読みいただく前に、お問い合わせいただいても、技術評論社および著者は対処しかねます。あらかじめ、ご承知おきください。

本文中に記載されている製品の名称は、すべて関係各社の商標または登録商標です。

や、そのグループ会社や、未上場の中堅中小企業に至るまで、多くの企業が大手企業と同じITツールをほぼ同じ価格を支払って購入し、活用しなければなりません。そのことが筆者にはあまりにも不条理に思えてなりませんでした。

そこで既存のITベンダー各社にも、内部統制対応のためのITツール導入にかかる初期費用を抑えるため、ITツール購入代金の分割払いやリース契約ができないかと相談してみました。

しかし残念ながら、既存のITベンダーは、基本的に自身で在庫を持つことができせん。お客様に高い初期費用やメンテナンス費用、バージョンアップごとの追加費用を余儀なくしてきたことに、筆者は心を痛めてきました。

そうしている間にも、お客様の内部統制対応は、どんどん遅れていたり、中には、「我が社には高価な内部統制対応ITツールは買えない。我が社は内部統制対応において、他の企業に大きく遅れた後進企業だ」と諦めたりするお客様が出ていました。

しかし、ASPやSaaSを含むクラウド・コンピューティングが市民権を得た今、既存のITベンダーから内部統制対応のITツールを購入してIT資産を保有しなくても、初期費用が安いまま「内部統制対応のITツールを借りて活用する」ことができるようになります。数多くの監査指摘を克服する内部統制対応ができる大チャンスを迎えることができます。このことに筆者は注目しました。

一社でも多くの企業が、より多くの方々から信頼され、健全に儲け続けていくための内部統制の整備・運用ができるよう、本書の執筆を心に決めました。

本書がより多くの企業の内部統制対応に少しでもお役に立てば幸いです。

クラウド・コンピューティングは、まだまだこれから発展の伸びしろがある中で、批判を恐れず、内部統制とクラウドの関係について述べる書籍を、誰かが早く世に出すべきだと思っても筆者は強く抱いています。

クラウド・コンピューティングによって内部統制を特別なものではなく、より多くの企業が手軽に大手企業と同じレベルのITツールやIT環境を備えて実現できるようになります。そこで本書を通じて祈りにも似た思いでそのアイデアを皆様にお届けする次第です。お手にとっていただいた皆様には、心より厚く御礼申し上げます。

2009年11月

筆者記す